



「おりづるピースガイド」育成プログラムの現状

2018年12月17日
ピースポート

ピースポートでは、第94回ピースポートで実施された第10回「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」から、被爆者よりも若い世代で、被爆体験を伝えると共に「核なき世界」をつくるために活動できる知識と技能を持ち合わせた「ピースガイド」の育成を開始しました。その要領は、下記の通りです。

1. 名称 「おりづるピースガイド」

2. 概要

◆被爆体験の継承と核なき世界の構築に向けて活動するための基礎的な知識と技能を習得するための「養成講座」をピースポートの船上で実施。

◆「養成講座」の内容は、「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」に参加する被爆者や被爆二世からの聞き取りや、世界と日本の核問題に関する講座・研修など。

◆「養成講座」の修了者に「おりづるピースガイド」の称号と記念品を授与する。

◆「おりづるピースガイド」に期待することとして、被爆証言会の開催、地元での原爆・核・戦争・平和に関するイベント開催や案内活動の実施、「ヒバクシャ国際署名」の実施、核兵器禁止条約に関する知識の普及、などがある。

◆自主的なそれぞれの活動を普段からSNSで結び、毎年8月6～9日前後に広島または長崎で交流会を実施する。

3. 2017年4月に開始。2018年末までに100名の「おりづるピースガイド」の育成を目標とする。

【ピースガイドこれまでの成果】

	(A) 2017年4月～2018年8月		(B) 2018年9月～12月		合計	
	(女性)	(男性)	(女性)	(男性)	(女性)	(男性)
10代	2		3		5 (6%)	
20代	34		11		45 (52%)	
30代	4		2		6 (7%)	
50代	3				3 (3%)	
60～72歳	12		15		27 (31%)	
73歳以上*	1				1 (1%)	
合計	56	18 (32%)	31	8 (26%)	87	26 (30%)

(A) は、以下の3つの航海の累計数

第94回ピースポートの船旅(2017年4月12日～7月25日)

第95回ピースポートの船旅(2017年8月13日～11月24日)

第98回ピースポートの船旅(2018年5月8日～8月21日)

(B) は、直近の以下の航海での数

第99回ピースポートの船旅(2018年9月1日～12月17日)

*「73歳以上」で区切ったのは、2018年現在「戦後73年」であることから。ただし各回の年齢は乗船当時の年齢。

■活動事例 ((A)の期間の参加者、その後)

- ヒバクシャ国際署名を佐賀で、約100名分集めた。(佐賀県 60代)
- 岡山県で自分が船での体験を伝えるために講演会をやった。(岡山県 30代)
- 大学時代所属していたボランティア団体(NGO 法人)にてピースガイドでの経験を伝えた。(岡山県 20代)

■活動の予定 ((B)の期間の参加者、下船後の予定)

- 各ピースボートセンターでの報告会・勉強会
- 母校や所属する団体での講演
- 被爆証言会の実施(地域の被爆者団体と協力して)
- 広島・長崎へのスタディツアーの実施(自分たちで学びに行くという意味)
- SNSでの発信、#YesICANでの発信
- 広島「ハチドリ舎」でのインターン(2名検討中)
- 今クルーズでの想いを届けるために広島出身のピースガイドが千羽鶴を平和公園へ届ける予定

お問い合わせ先

ピースボート事務局

Tel: 03-3363-7561 (担当:野口)

info@peaceboat.gr.jp